

日 時：2013年2月24日（土） 13：00－16：30

場 所：東京大学理学部1号館中央棟336号室

出席代議員：岡村，渡部，柴田，奥村，河合，小久保，半田，望月，市川，梅村，吉田（道利），井上，吉川，福井，杉山，佐藤，牧島，土居，太田，山田，縣，櫻井，寺澤，芝井，富阪，藤沢，百瀬，長尾，（以上28名）

欠席代議員：海部，田村，常田，馬場，舘山，林，吉田（直紀）（以上7名）

また，尾中・郷田監事，長田研究奨励賞選考委員長，本原庶務理事，熊谷・松尾会計理事，西野事務長，黒岩事務職員が出席した。

なお，櫻井会長と奥村・山田副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

I-3 議事に先立ち，出席者が28名で定足数を満たし，本会が成立することが確認された。また定款に基づき，以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井 隆

署名人：櫻井 隆

II. 報告

II-1 新法人移行報告（本原）

新法人移行申請作業を進めた結果，2012年12月19日に内閣府より公益法人認定がなされ，同12月28日に公益法人登記を行った。これにより，同日をもって公益法人日本天文学会となった。

II-2 理事会報告（本原）

創立100周年記念事業基金の残金を使い，「シリーズ現代の天文学」全17巻を，全国の教育機関や公共機関など43ヶ所に寄贈した。

II-3 2012年度監査報告（資料2，尾中，郷田）

特例社団法人の2012年度事業の監査を2013年1月18日に行った。参加したのは監事2名，会計理事2名，庶務理事2名，事務長，及び会計士1名である。結果，2012年度事業は正当に行われたことを承認した。

II-4 学術会議報告（杉山）

大規模マスタープランの改訂を行っており，学術会議からは210件の推薦を行う予定。天文関連のプロジェクトについては，天文コミュニティの6団体での議論を経て推薦を受けたものを受けつけている。中型計画についてのシンポジウムを5月28日，29日の日程で開催する。また，2011年に作成した「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」の改訂，および大学学部教育の質保障の議論を行なっている。日本天文学会でも対応を議論して欲しい。

II-5 IAU報告（岡村）

学術会議から，加入国際学術団体についてのアンケートが来た。分担金の支払額が膨張しており，学術会議としてすべてを負担しきれない状況になる可能性があることが背景にある。また，各commissionにおいて，今期は日本人のvice presidentがいない。これは，次期presidentがいなくなることを意味しており，積極的にcommissionに関与してほしい。報告資料は学会のホームページに掲載する。

II-6 2012年度早川基金報告（資料3，本原）

総員19名，212万円の補助を行った。

III. 議題

III-1 特例社団法人日本天文学会2012年度事業報告書の承認（資料4，本原）

誤字の修正を行った上で，全会一致で承認された。

III-2 特例社団法人日本天文学会2012年度決算報告書の承認（資料5，松尾）

一般会計については780万円の黒字となった。2012年中に行う予定であった名簿の印刷を，公益法人移行後に延期したことが効いている。また年会収入が大きく伸びている。ただ，天文月報については印刷費が増大しており，これの圧縮を考える必要がある。特別会計については，学術交流費，早川基金以外は残額が少なくなってきたので，寄附などを集めることを考え始めたほうが良いかもしれない。これに対し，早川基金の積み上げは大きいので，より使い方を広げるのはどうかという提案がなされ，理事会で検討を進めているが，主な寄付者である佐藤氏の意向も確認する必要があると説明された。以上の議論の後，全会一致で承認された。

III-3 公益社団法人日本天文学会2013年度事業計画書案の承認（資料6，本原）

2013年度に代議員選挙を行うという説明に対し，その候補者の推薦委員会が必要なのかという問題提起がなされ，実際に前回の選挙時には立候補者は一人もいなかったのが必要であろう，他にも若手の会のメンバーが今回の代議員に入っておらず，そこにも注意が必要である，などの意見が出された。以上の議論の後，誤字の修正を行った上で，全会一致で承認された。

III-4 公益社団法人日本天文学会2013年度予算書案の承認（資料7，熊谷）

会計体系が変わって一般会計と特別会計の区分はなくなり，公益目的事業会計と法人会計の区分分けとなった。これまでの一般会計分については，80万円の赤字予算として組まれている。これに対し，天文月報の赤字が問題の一つとして取り上げられているが，そもそも天文月報は会誌であるので，事業の収支だけで赤字を問題にするのはおかしいのではないかとはいえ全体の収支が会の運営に影響するのであれば圧縮は考えるべきだろう，そもそも会費収入4,000万円に対して天文月報の赤字が1,000万円は多すぎる，などの意見が出された。以上の説明の後，全会一致で承認された。

III-5 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案の承認（資料8，本原）

附則として，「平成25年度に選出される理事会の会長候補者については，その選出の選挙は行わず，平成24年度会長をもって会長候補者とする」を追加する提案がなされ，全会一致で承認された。

III-6 2012年度各賞受賞者の決定

・林 忠四郎賞（資料9，岡村）

林 忠四郎賞，欧文研究報告論文賞選考委員である岡村代議員より，選考経過，及び最終候補者に松原隆彦氏を推薦する理由が説明された後，同氏に授賞することが全会一致で承認された。

・PASJ論文賞（資料9，岡村）

同じく岡村代議員より選考経過，及びOkabe et al.（2010），Ohsuga et al.（2009）の2篇を推薦する理由が説明され，推薦通りに授賞することが全会一致で承認された。

・研究奨励賞（資料10，長田）

長田哲也研究奨励賞選考委員長より，選考経過，及び最終候補者に坂井南美，田中賢幸，細川隆史の3氏を推薦する理由が説明され，推薦通り授賞することが全会一致で承認された。

・天体発見賞・功労賞・天文功労賞（資料11，渡部）

天体発見賞選考委員会前委員長である渡部

潤一代議員より，天体発見賞8名/1グループ18件，及び天体発見功労賞5名5件の推薦理由が説明され，推薦通り授賞することが全会一致で承認された。また，天文功労賞（長期部門）1名の候補者の推薦理由が説明され，推薦通り授賞することが全会一致で承認された。なお，天文功労賞（短期部門）については該当者がなかった旨報告された。また，自治体等の公開天文台での発見を同列に取り扱うことに対して見直す必要があるのではないかと問題提起がなされ，委員会で検討することとした。

III-7 2013-2014理事会の理事候補者の承認（資料12，櫻井）

櫻井会長より，次期理事候補者を現理事の内から田代を除く，櫻井，奥村，山田，中村，本原，熊谷，松尾，茂山，青木，宮田，山岡，石丸，滝沢，林田の14名とする提案がなされ，全会一致で承認された。

III-8 推薦委員会委員の承認（資料13，郷田）

推薦委員会前委員長である郷田監事より，代議員選挙で候補者の推薦を行う次期推薦委員会の候補者6名が提案され，全会一致で承認された。

〔資料リスト〕

資料1 代議員総会出欠表

資料2 監査報告書

資料3 2012年度早川基金採択者

資料4 特例社団法人日本天文学会2012年度事業報告書案

資料5 特例社団法人日本天文学会2012年度決算書案

資料6 公益社団法人日本天文学会2013年度事業計画書案

資料7 公益社団法人日本天文学会2013年度予算書案

資料8 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案

資料9 2012年度林 忠四郎賞選考委員会（欧文研究報告論文賞選考を含む）選考経過報告

資料10 第24回（2012年度）日本天文学会研究奨励賞候補者推薦理由書

資料11 2012年1月～12月期の天体発見賞・天体発見功労賞候補者の推薦

資料12 公益社団法人日本天文学会役員就任予定者名簿

資料13 2013年度―2014年度推薦委員会委員候補者

2013年2月24日

会 長：櫻井 隆 印